

第71期 株主通信

平成24年4月1日 ▶ 平成25年3月31日

 **NFKホールディングス**
NFK Holdings Co., Ltd.

証券コード：6494

NFK At A Glance | ひと目でわかるNFK

1950年の創業以来、私たちは燃焼機器関連事業を柱に、常に時代の先端をリードする技術開発に努めてまいりました。そして業界に確固たる地位を築きました。私たちは今、地球環境保護を最重要テーマとする省エネルギーや低環境負荷に貢献する製品やサービスの開発・販売を手掛けることで、新しい未来の扉を開こうとしています。

私たちの技術が
身近なところで
暮らしを支えています



最終製品

- ① ビルの空調・熱源
- ② アルミエンジン
- ③ アルミタイヤホイール
- ④ 車のフロントガラス
- ⑤ 石油・灯油・各種石油関連製品
- ⑥ 鋼材
- ⑦ 食品製造工場

当社製品

- ボイラー用バーナ
- アルミニウム合金熱処理のための工業炉
- アルミニウム合金熱処理のための工業炉
- ガラス曲げ加工のための加工炉
- 石油精製プロセスにおける加熱炉
- 製鉄所用の加熱炉バーナ
- 殺菌加熱用ボイラー用バーナ

最終製品

- ⑧ セメント
- ⑨ 水素・水素ステーション
- ⑩ 天然ガス
- ⑪ ソーラパネル
- ⑫ 下水処理場
- ⑬ ごみ焼却場
- ⑭ 化学工場、ガスプラント

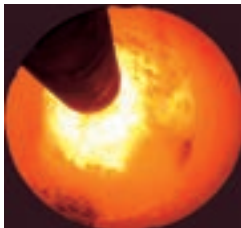
当社製品

- 石灰焼成のためのバーナ
- 小型水素製造装置におけるバーナ
- 環境負荷ガス燃焼装置
- 各種素材製造プロセス用加熱炉
- 汚泥焼却設備
- 焼却炉用バーナ
- 廃液・廃ガス無害化燃焼装置

プラントエンジニアリング事業

Plant Engineering

- 産業機械関連 主な販売先
鉄鋼関連企業
セメント関連企業
石油化学関連企業
- 石油関連
- 環境関連



ロータリーキルン燃焼状態



空気加熱炉



廃液・廃ガス燃焼装置

燃焼機事業

Combustion Equipment

- 金属加熱関連 主な販売先
大手ボイラメーカー
熱処理関連企業
鉄鋼関連企業
- ボイラ関連



ULN型低NOxバーナ



ガラス熱交換器



連続焼鈍設備用HR-SRTバーナ

工業炉事業

Industrial Furnace

- 自動車関連 主な販売先
大手自動車メーカー
金属加工関連企業
窯業関連企業
- 金属加工炉
関連



2階建AL casting T6熱処理炉



多目的合金鋼バッチ炉



バスケットレス多段回転炉

当社の強み | Our Strengths

- ① 卓越した技術力
- ② カスタムメイド
- ③ 長年にわたり培った製品信用力
- ④ 優良な顧客基盤
- ⑤ ファブレスで柔軟な経営

株式会社NFKホールディングスは、最先端技術を社会に提供し、地球環境保全と循環型社会の実現に貢献するとともに、株主の皆様は勿論、企業を支えるお客様や取引先、社員、地域社会等の全てのステークホルダーの繁栄を目指して事業活動を行ってまいります。

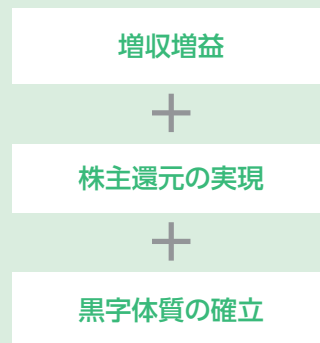
決算総括 | Executive Summary

- 平成25年3月期も前期に引き続き増収増益を達成
- 2期連続の当期純利益を計上して安定した黒字化へ

Point 1 大型案件の安定的な受注（3期連続）

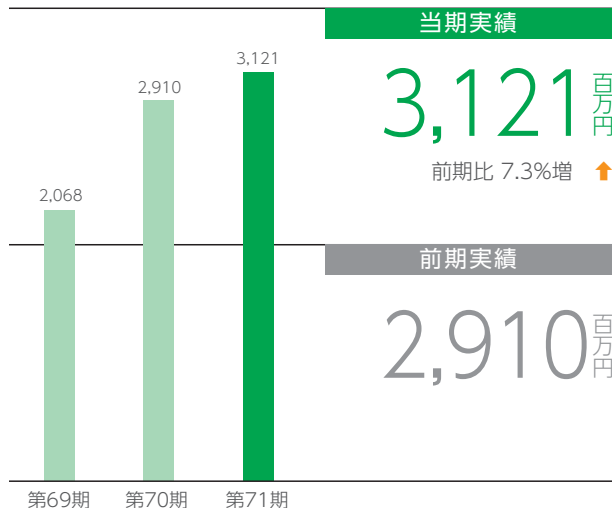
Point 2 海外売上高の伸張

Point 3 原価低減・経費節約による増益

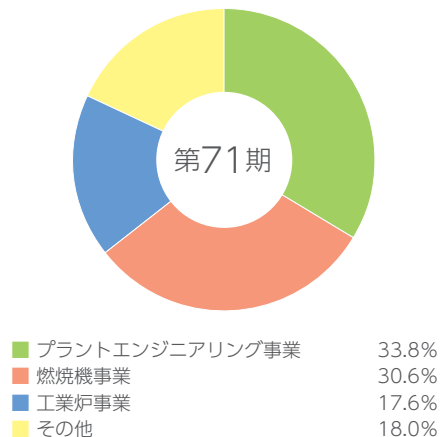


売上高

(単位：百万円)



事業別売上高構成比



当冊子より詳しい決算情報などは当社IRサイトでご覧いただけます。

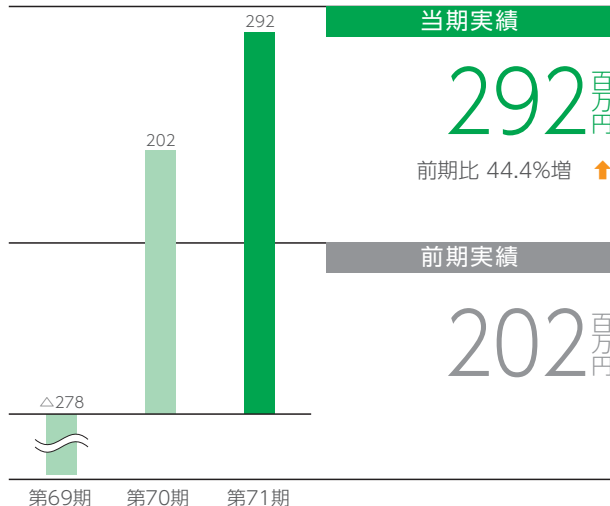
<http://www.nfk-hd.co.jp/ir/> または

NFK IR

検索

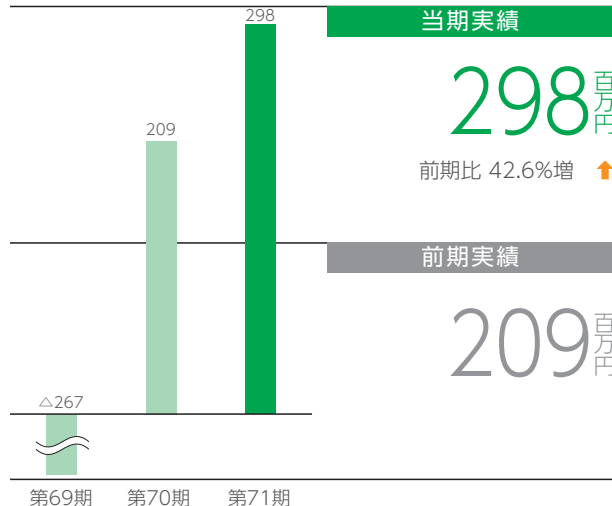
営業利益

(単位：百万円)



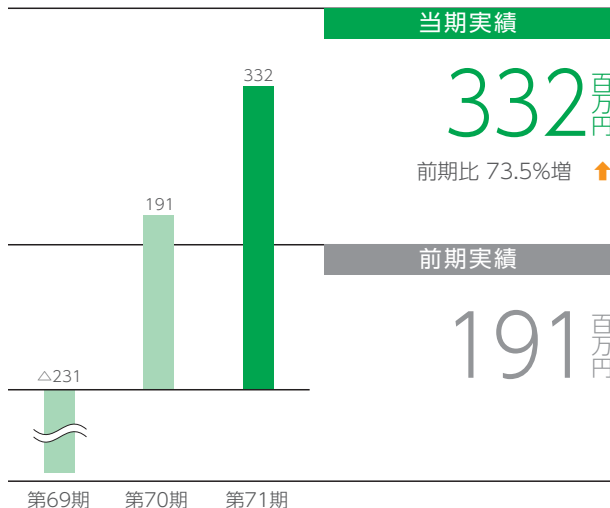
経常利益

(単位：百万円)



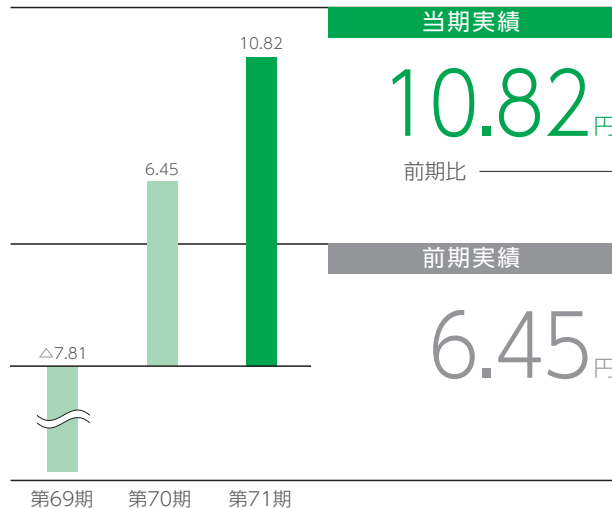
当期純利益

(単位：百万円)



1株当たり当期純利益

(単位：円)



2期連続黒字を達成し、復配を実現 成長を重ね、安定した経営基盤確立を目指す

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第71期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の営業概況と主要項目につきましてご報告申し上げます。

平成25年6月

代表取締役社長 関口 陽介



当期の経営環境と連結業績について

当期における国内経済は、当初緩やかな回復基調で推移していましたが、欧州をはじめとする世界経済の減速や周辺国との領土問題の影響などから、秋以降は輸出が減少傾向となり、厳しい状況となりました。新政権の経済政策への期待感から円高の是正・株高が急速に進行し、明るい兆しも見えてはじめていますが、その影響はまだ限定的で、景気は総じて厳しい状況が続いています。海外におきましても、米国やアジアを中心とする新興国は景気を持ち直す一方、欧州経済は依然として不安定で、先行き不透明感が払拭できていません。

当社グループにおきましても、海外向けの大型加熱炉の受注獲得など海外向け案件は順調に推移したもの

の、国内向けの受注については依然として低水準に止まっており、厳しい環境下での事業運営を迫られることとなりました。

このような状況の中、シナジー効果の薄れていた株式会社光電機製作所（連結子会社）の譲渡など収益体質の強化を図るとともに、平成23年8月に策定した「13中期経営計画」に基づき国内外既存顧客への対応の強化、低燃費・低環境負荷を実現する戦略的商品の集中的拡販、新興国への積極的な営業活動を展開して受注の確保に努めるなどの様々な施策を実行してまいりました。

これらの結果、前期に受注した大型案件が寄与したこともあり、当期の業績は、売上高が前期比7.3%増、営業利益が同44.4%増、経常利益が同42.6%増と大幅にアップしました。また、当期純利益は、繰延税金資

産の計上に伴う法人税等調整額の発生の影響により同73.5%増となりました。

次期の見通しについて

今後の国内経済は、円高の是正による輸出環境の改善や政府の経済政策等により、景気の好転が期待される一方で、欧州経済の財政・金融問題の影響などの懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況が続くものと考えられます。

このような中、当社グループは、引き続き「13中期経営計画」に取り組み、とりわけ工業炉燃焼装置関連事業の強化を核に、成長を目指します。中でもコアビジネスである工業炉燃焼装置関連事業につきましては、

国内既存顧客対応の強化や戦略商品の集中的拡販などを柱とする国内基盤の構築と、海外既存顧客への深耕や新興国市場での商流確立などを柱とする海外売上高拡大の2つの施策を実行することにより、安定的な成長基盤の確立を目指します。

同時に、事業継続計画（BCP）の作成と定期的な見直しによるリスクマネジメントの強化と、コンプライアンスに徹した経営体制の構築により、健全で透明性が高く、リスクにも強い企業風土を構築します。

そして、これらの取り組みを可能にするために、最重要な経営資源である優秀な人材の育成を目指し、人材育成制度改革を行います。

これらの取り組みを継続的に行うことで、経営体制を強化し、3期連続の黒字を目指します。次期の通期

13中期経営計画

経営基本方針

平成23年8月に策定

- ① 燃焼機器関連事業の強化
- ② 先端ニーズに対応する研究開発体制の構築
- ③ 黒字体質の確立
- ④ コンプライアンス、コーポレートガバナンス重視の徹底

国内基盤固め

海外売上比率 35%

全てのステークホルダーから信頼される企業へ

連結業績は、売上高33億円、営業利益は2億5千万円、経常利益は2億5千3百万円、当期純利益は2億5百万円を見込んでおります。

利益還元方針と配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を充実させていくことを経営の最重要課題の一つに位置づけ、安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な財務基盤を構築すべく株主資本の充実を図りながら、収益動向とのバランスに配慮した利益配分を行うことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、平成23年3月に経営体制の刷新を行い、役職員全員一丸となって企業体質の改善に努めた結果、厳しい経営環境の中で2期連続の当期純利益を計上して継続的な黒字の見通しがついたことから、上記方針に基づき、財務状況並びに業績な



どを総合的に勘案し、1株当たり1円の期末配当（復配）とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

研究開発 | 日本ファーンレス燃焼技術研究所が竣工

平成25年5月29日に宮崎県西都市のオリンピア工業株式会社西都工場敷地内に日本ファーンレス燃焼技術研究所が竣工いたしました。各種大型バーナを対象にした燃焼試験システム（燃焼試験装置＋測定機器＋解析システム）を設置しており、必要に応じたタイムリーな燃焼試験が可能となります。これにより省エネルギーかつ低環境負荷を実現する最先端の燃焼機器を、迅速かつコストミニマムに開発する体制が整いました。



■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成25年3月31日現在	前連結会計年度 平成24年3月31日現在
資産の部		
流動資産	3,092	2,684
固定資産	980	1,016
有形固定資産	820	806
無形固定資産	4	3
投資その他の資産	156	206
資産合計	4,073	3,701
負債の部		
流動負債	752	683
固定負債	464	492
負債合計	1,217	1,176
純資産の部		
株主資本	2,437	2,105
資本金	2,131	2,131
資本剰余金	40	40
利益剰余金	266	△ 66
自己株式	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	418	419
純資産合計	2,856	2,524
負債純資産合計	4,073	3,701

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	前連結会計年度 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	195	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	59	△ 6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 18	74
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	235	146
現金及び現金同等物の期首残高	1,325	1,179
現金及び現金同等物の期末残高	1,561	1,325

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	前連結会計年度 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高	3,121	2,910
売上原価	2,220	2,071
売上総利益	901	838
販売費及び一般管理費	608	635
営業利益	292	202
営業外収益	7	9
営業外費用	1	3
経常利益	298	209
特別利益	20	1
特別損失	7	8
税金等調整前当期純利益	311	201
法人税等	△ 20	10
少数株主損益調整前当期純利益	332	191
当期純利益	332	191

■ 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	前連結会計年度 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
少数株主損益調整前当期純利益	332	191
その他の包括利益	△ 0	35
その他の有価証券評価差額金	△ 0	2
土地再評価差額金	—	32
包括利益	331	226
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	331	226
少数株主に係る包括利益	—	—

会社概要

社名	株式会社NFKホールディングス
設立	昭和25年（1950年）4月12日
資本金	21億31百万円
従業員数	95名（連結）
事業内容	持株会社（工業炉燃焼装置関連事業）
事業所	神奈川県横浜市鶴見区尻手二丁目1番53号
上場市場	大阪証券取引所 JASDAQ（コード番号：6494）
	※ 平成25年7月16日から東京証券取引所 JASDAQに変更

連結子会社

● 日本ファーンエス株式会社

所在地	資本金	議決権比率
横浜市鶴見区	100百万円	100%

● 株式会社ファーンエスES

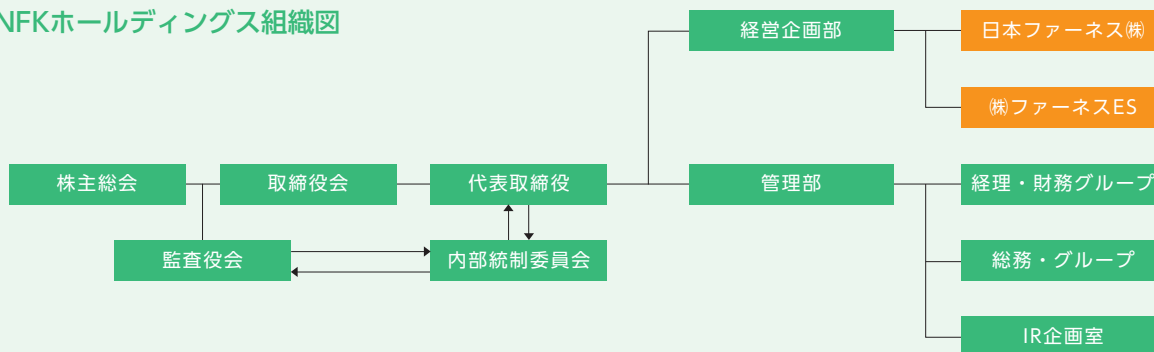
所在地	資本金	議決権比率
横浜市鶴見区	20百万円	100%

役員

役職	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	関口 陽介	日本ファーンエス株式会社 代表取締役社長
取締役	戸羽 光二	
取締役	古池 政巳	
取締役	田端 雅和	株式会社スコラ・コンサルト 非常勤監査役 株式会社エーグループ 代表取締役社長
取締役 ※	清見 義明	
取締役 ※	宮原 英輔	オリンピア工業株式会社 代表取締役社長 九州オリンピア工業株式会社 代表取締役社長
監査役	岡崎 稔	日本ファーンエス株式会社監査役
監査役 ※	笹原 信輔	一橋総合法律事務所 パートナー弁護士
監査役 ※	辻 高史	あすなる監査法人代表社員

(注) ※印の役員は社外取締役及び社外監査役であります。

(株)NFKホールディングス組織図



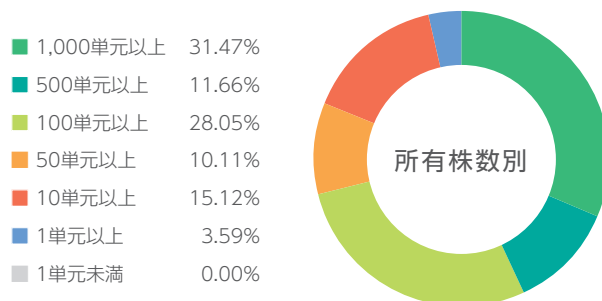
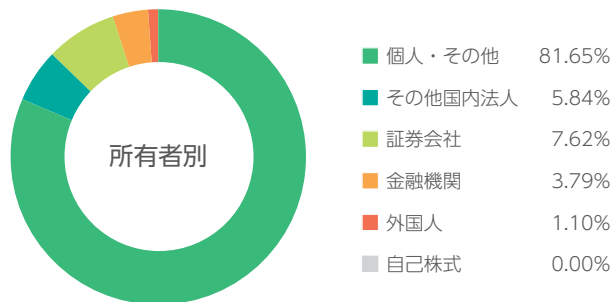
株式の状況

発行可能株式総数	118,610,000株
発行済株式総数	30,713,342株
株主数	7,467名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
大阪証券金融株式会社	1,146,000	3.73
オリンピック工業株式会社	1,060,000	3.45
楽天証券株式会社	579,200	1.88
松井証券株式会社	525,000	1.70
窪田 康弘	470,000	1.53
斉藤 征夫	358,200	1.16
マネックス証券株式会社	346,807	1.12
渡邊 新一	320,000	1.04
藍澤証券株式会社	315,200	1.02
竹内 祥晃	290,000	0.94

所有者別・所有株数別分布状況



IR NEWS

個人投資家と企業のコミュニケーションの場

平成25年8月24日(土)

IRフォーラム2013東京 — 環境・安心・豊かな暮らし — に出展

当社は、8月24日(土)に開催されるIRフォーラム2013東京に出展します。
ご来場の際は当社ブースに是非お立ち寄りください。

開催日時 平成25年8月24日(土) 10:30~17:00

開催場所 TEPIA (テピア) 東京都港区北青山二丁目8番44号

URL <http://www.tuvalu-forest.jp>

詳細はURLをご覧ください。



IRフォーラム2013東京 (当社ブース)

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日

○ 定時株主総会 毎年3月31日

○ 中間配当 毎年9月30日

○ 期末剰余金配当 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
(電話参照先) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
全国各支店で行っております。

単元株式数 100株

公告方法 電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告
による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に
掲載いたします。
公告掲載URL (<http://www.nfk-hd.co.jp>)

○ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

○ 株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部がほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

ホームページのご案内



<http://www.nfk-hd.co.jp>